

南の風

—第9号—

いよいよ2020年！今年もよろしくお祈りします。

1月14日(火)から24日(金)にかけて、こども医療センターの渡り廊下にて、小学生書初め展を開催しました。

小学部

一・二年生は、今年の干支「子」を書きました。一年生にとって、筆を使って文字を書くのは初めての経験となりました。作品からは、書くことの嬉しさが伝わってきます。三年生以上の学年は、教科書をお手本にして書きました。三年生は「生きる力」、四年生は「元気な子」、五年生は「美しい空」、六年生は「希望の朝」に取り組みました。見事な書きぶりから、一筆一筆気持ちを込めて、丁寧に筆を書き進める児童の様子が目に浮かびます。



重心部門 ひまわりクラス

今年は子年ということで、手形がハリネズミになっています。絵の具で手形をとる際には、ぬるぬるとした感触に目を見開いて驚く児童もいれば、筆のくすぐったさに笑顔になる児童もいました。その後は筆を使って子年の「ね」の文字を書きました。筆をぎゅっと握り、腕の力を入れたり抜いたりしながら、一生懸命活動に取り組むことができました。最後は金色と銀色の絵の具を使ってゴージャス感あふれる模様をつけて完成です。HPに掲載していますので、それぞれの児童による個性あふれる作品をぜひご覧ください。



12月6日に、中学部では総合発表が行われました♪

今年度のテーマは、「未来への探求」です。そして、2学期の小テーマは「職業と進路」。クラスで一つの職業を選び、先生方を通して知り合いの方にインタビューしたり手紙で質問したりしました。自分たちが考えた仕事についての考えとインタビューなどを通して分かった事実の違いから、仕事の大変な面ややりがいや浮き彫りになりました。みんなの思っていた仕事のイメージと学習を通して分かったこと・考えたことをまとめました。

当日は、いくつかの病棟と学部全体が集まった教室をつないで、発表・質疑応答・アドバイスシートの記入をしました。1年生は「駅員さん」。思ったよりも仕事内容も多く常に連携が大切なことなどたくさんのが発表されましたが、それとともに駅員さんの『仕事に入る前の準備で一番大切なのは「心の準備」』といった言葉も印象に残りました。2年生は「テーマパークで働く人」。なぜキャストになったかという問いに「将来人を幸せにする職業につき、ホスピタリティを学びたかったから。」という答えがあり、みんな納得していました。テーマパーククイズもあり、その規模の大きさにどよめく一場面もありました。3年生は「動物園で働く人」。画像をうまく使った発表がわかりやすく、また、動物のストレスや世界の動物園との動物交換など初めて聞く内容もあり、みんなが注目していました。職業を通して様々なことを学んだ発表会でした。



コラム プログラミング教育の必修化に向けて

2020年度から全面実施となる新小学校学習指導要領では、プログラミング教育が必修となります。

新学習指導要領では、「情報活用能力」は言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられています。「プログラミング教育」によって育成を目指す「プログラミング的思考」とは、試行錯誤しながら問題を解決していく論理的な思考力であり、時代を超えて普遍的に求められる力であるとされています。

4月からの必修化を見据え、今年度小学部では、「プロロ」という小型ロボットを使って学習しました。別のプログラミング学習アプリを使ってプログラミングの基礎を学んでから、実際に「プロロ」を自分たちの意図した動きに近づけるためのプログラムをコンピュータ上で考えました。そして、全国の病弱特別支援学校からプログラムを募集して行われた「ロボットプログラミング選手権全国大会」にも出場することができました。

しかし、プログラミング教育は、コンピュータを用いて行うことが全てではありません。「完成に至るまでの過程を考え行動すること」という、プログラミングの基礎となる考えを踏まえると、子どもたちの発達段階や学習過程から、様々な方法が考えられます。そこで2年生は、命令文を書いたカードを組み合わせて指示を出し、ロボットになった友だちがその指示どおりの動きをして宝を取れるようにする「ロボットになろう!」という授業を行い、プログラミングの基礎となる学習を行いました。

必修となる4月以降も、子どもたちが退院後、さらにもっと先の未来をよりよく生きていくことにつながる力を身につけられるよう、場面や方法を工夫し指導していきたいと考えています。

(文責・小学部長 松尾千絵)

2月の予定

- 4～5日 中学部3年期末試験 5日 重心集会③ 13～14日 中学部1、2年期末試験
17日 授業参観 個別面談 18日 小学部 6年生を送る会 19日 中学部 卒業生を送る会
21日 中学部3年遠足 25日～28日 重心個別面談